

各位

会社名 株式会社テレビ東京ホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 吉次 弘志
 (コード番号: 9413 東証プライム)
 問合せ先 経営企画局長 工藤 仁巳
 (Tel. 03-3587-3061)
<https://www.txhd.co.jp>

2025-27 中期経営計画の上方修正及び株主還元の強化について

当社は、本日開催の取締役会において、2025年5月14日に公表した「2025-27 中期経営計画」に関して計数計画の上方修正を決定いたしました。あわせて、事業の成長に伴い株主還元の強化を決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 計数計画の上方修正

(当初計画)

	23年度 実績	24年度 実績	25年度 計画	26年度 計画	27年度 計画
売上高	1486 億円	1558 億円	1570 億円	1605 億円	1650 億円
営業利益	88.4 億円	77.9 億円	80 億円	95 億円	115 億円
当期純利益	67.4 億円	60.3 億円	63 億円	72 億円	84 億円
ROE	7.0%	6.0%	6.1%	6.8%	7.7%



(今回変更)

	25年度 実績	26年度 計画	27年度 計画
売上高	1649 億円	1680 億円	1730 億円
営業利益	114 億円	115 億円	125 億円
当期純利益	77 億円	80 億円	89 億円
ROE	7.4%	7.5%	7.9%

「2025-27 中期経営計画」は、長期ビジョン『テレ東 VISION2035』が示す10年間における最初の3年間に位置づけられ、長期ビジョンに沿った戦略と具体的な取り組みを示すものです。

計画初年度である2025年度は、「成長エンジン」と位置付ける「アニメ・配信」において「NARUTO/BORUTO」の海外ゲームからのロイヤリティ売上等が好調に推移し、同セグメント利益が1.5倍に成長しました。また、

放送事業におけるCM単価の引き上げも奏功し、売上高、営業利益、経常利益、純利益のすべてが過去最高を更新しました。成長エンジンである「アニメ・配信」を軸に収益構造改革をさらに進める方針を踏まえ、2025-27 中期経営計画の計数計画を上方修正いたします。

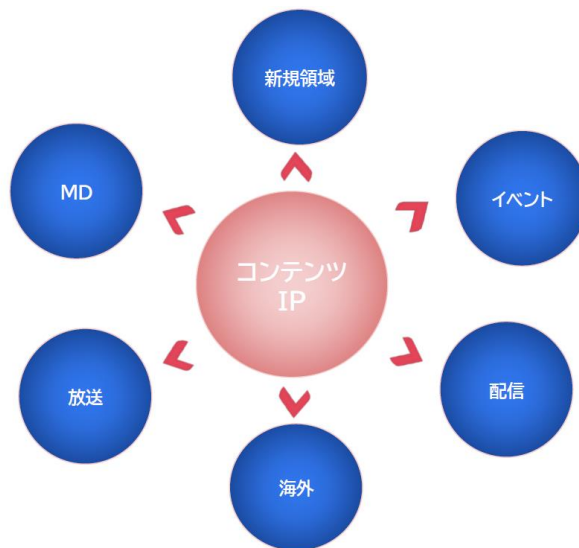
計数計画の前提となる事業計画については、コンテンツ・IP(知的財産)を起点として多方面に事業展開する「CaaS(コンテンツ・アズ・ア・サービス)」戦略を一層推進し、グローバル IP メディアへの歩みを加速します。ドラマ、アニメ、バラエティ、スポーツなど各分野で既存コンテンツの強化はもとより、新たなヒットコンテンツ、新たな IP の創出に総力を挙げます。総コンテンツ制作費(放送・アニメ・配信・イベント)を一層拡充するほか、シナジーが見込める企業との M&A や提携も進めます。

2. 株主還元の強化

事業の成長にあわせて株主還元を強化します。連結ベースの配当性向は 35%を目途とし、総還元性向は 40%程度を目指すことを新しい株主還元方針とします(従来は「配当性向 30%を目途とし、中長期的に 35%を目指す」)。利益の拡大に連動した継続的な配当姿勢を明確にするとともに、従来設けていた下限配当 20 円との方針を撤廃します。

テレビ東京グループは、コンテンツ制作力をさらに強化、コンテンツ・IPのグローバル展開に注力して、「グローバルIPメディア」へと進化します。営業改革を推進し、テクノロジー・AI を積極活用、大型投資をしてきた基幹システムの DX により生産性の向上を一層進めます。取引先も含め人権を尊重し、社会に信頼されるメディアであり続けます。

○CaaS 戦略(カーズ) ～Contents as a Service～ ※イメージ



※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。

実際の業績等は、経済活動の動向等により大きく異なる可能性があります。

以上